

市議団ニュース

党議員団、2017年度の決算認定に反対しました

私達日本共産党久喜市議団は、昨年度から見て改善した点、市職員の努力には評価をする部分もありましたが、残高や基金は市民の税金ですので、これらを活用して生活を支え、切なる市民の要望にしっかりと応えるべきであったと以下の点を指摘して反対しました。



全地域に運行が望まれる循環バス

9月議会では、平成29年度の一般会計決算審議がありました。歳入合計額は約533億7600万円、歳出合計額は約518億9700万円です。差し引き14億7800万円の残高であり、財政調整基金も53億5600万円。基金全体では約102億円の積み上げとなっています。

補正予算では

1 市長交際費はわずかの改善がありました。相変わらずの県内トップクラスである、削減をすべき。

2 職員の時間外労働は過労死レベルの月80時間を超えた事例も出ている。十分な人員配置と労務管理をすべき。

3 人権問題は、同和運動団体だけに補助をするのではなく、LGBT問題など様々な課題に平等な取り組みをすべきである。

4 ふるさと納税は、平成29年度の税控除額9200万円に対して、久喜市への寄付金額は344万円、さらに委託料も加わり大赤字となっている。本来の主旨を考え、方向転換をすべき。

5 デマンドバス・循環バスは、エリア外への運行や、予約の改善、交通弱者対策としての取り組みを強めて市民要望に応えるべき。

（次回のニュースで

引き続き掲載致します。）



取り壊して新設へ。巨大化が懸念される菖蒲清掃センター。
何よりも住民環境が第1だ。

ごみ焼却場の広域化検討業務

杉戸・幸手からの申し入れに

ごみ焼却場の広域化を検討する予算280万5千円が計上されました。これは、幸手市・杉戸町から7月5日付で「可燃ごみ処理の広域化に係る協議」の申し入れを受け、久喜市にとってメリット、デメリットを検討するものです。検討するということは「広域化」を視野に入れたことになります。

これまで「菖蒲清掃センター」にごみ処理施設を一所にまとめるとしていました。この方針は、関係する地元市民や議会においても、突然で大きな方向転換を意味します。建設に伴い影響を受ける関係市民の理解、とりわけ菖蒲清掃センター近隣の方の合意はかせません。

日本共産党久喜市議団では、これまでも、菖蒲清掃センター建設で影響を受ける関係市民への説明は、ごく一部の方に限られ不十分と指摘。新たな清掃センターは、ごみの減量化の推進を最大限追求することや、現在稼働している「八甫清掃センター」の活用も含め、可能な限り小規模なものにすべきと求めています。

関係市民への説明や合意が無い中、広域化を強引に進めることは反対です。

市民不在のトップダウン方式が問われた田中市政 最後の決算

新生児聴覚検査への補助を開始

日本共産党議員団が求めていたもので131万円が計上されました。

小中学校のブロック塀改修 緊急に推進

8173万円が計上され、大阪の地震を受け緊急調査し即対応するものです。党議員団でも早急の修復を申し入れていました。

市民の期待裏切る

大規模給食センター建設

（平成33年8月開始）

大規模給食センター建設費、7億5千万円が減額計上されました。これは事業を見直しするものではなく、来年度改めて計上し建設を進めるとの説明がされています。

日本共産党では、市長就任後に学校給食について緊急提言をし、自校調理への転換は、鷲宮の小中学校から順次進めて行けば実現可能と具体的提案もして来ましたが、しかし、検討したとする内容も財源が主な理由で前市長が示した内容と変わりません。

保護者と子ども達が期待していた学校給食をなくすことになり、公約違反との声にどう応えるのかとの間に「総合的に判断したもので理解してほしい。」との答弁です。市民の理解は得られないものと考えます。

杉野おさむ

桜田3丁目

7-1-504



図書館に指定管理者導入する市民合意はない！

社会教育事業である市立図書館を4館とも民間企業にゆだねるのが指定管理です。市は「図書館担当部署」という職員を置くから問題ないといいます。

問 この部署が図書館業務の進行管理、指導連携を行うというのは、本来、指定管理者が行うことではないのか。これでは偽装請負すれすれのことだが。

答 包括的にお任せすることもあるが、初めての試みということもございます。導入に向けて進めて行きたい。

問 民間にすると開館日数の拡大や利用時間の拡大ができるから、というのが直営のままで可能ではないか。市職員何人増やせばできるか。額はいくらか。また、その増員について財政部と折衝はしたのか伺う。

答 正職員で7人分、額にして5674万円ほど。総務部と7人増員を前提に話してはなし。試算したまでだ。(直営で可能なのに、要求もしていないことが判明した。)

教育的効果のない全国学力テスト参加は、やめよ

問 久喜市の小中学校では、どんなテストのための取り組みや指導をやってきたか(「過去問題を使用」、「学テ問題を宿題に出した」など9事例を示した)

答 過去問は全校で、宿題には21校で使用した。

平間 ますみ

久喜本町8-4-1



給食費補助を来年4月から実施すべき

問 市長は6月議会で学校給食費の負担軽減について、速やかに検討に入りたいと答弁されたがその後の検討状況を伺う。

答 市長からの指示を受け、平成30年8月に既に実施している自治体や、実施を検討している自治体に対してアンケート調査を実施し、現在集計作業を行っている。

問 市長、公約という大事な内容が4カ月たってもこれから進めますという話はない。余りにも時間がかかり過ぎている。迅速に対応すべきだ。

答 【市長】市長の公約に対しての実施の具体的計画というのを指示できればよかったが、少し時間がかかってしまったのは事実。できるだけ早く具体策を示すことができるよう努める。

要望 来年の4月実施に向けて間に合うように全力を傾けていただきたい。

小中学校校舎雨漏り対策は喫緊の課題

問 早目に対応が必要な学校として、久喜東小、江面第二小、太東中の体育館、そして本町小学校の校舎を挙げたが、4つの学校に対してその後の取り組み、今後の計画について伺う。

答 久喜東小、太東中体育館は改修に向けた準備を進めている。江面第二小体育館及び本町小学校校舎は、今後改修に向けた調査を実施していく。

要望 市長が公約した小中学校の雨漏り対策だ。重点課題として挙げた。早急な対応を取るべき。

市民の願いを届けました！(2回に分けてお知らせいたします)

石田としはる

栗橋東5-7-2



公共交通はまちづくりの根幹充実すべき

循環バスの充実は、市民の暮らしと福祉、教育と文化を支える土台です。久喜市全体に走らせるべきとの思いから質問しました。

問 一体感を感じる循環バスを菖蒲、鷺宮、栗橋地区にも走らせるべきと考えるがいかがか。

答 菖蒲・栗橋・鷺宮地区は人口密度が低く、定時運行バスは利用者が少なく非効率。利用者の多くが高齢者など交通弱者で、デマンド交通を選定した。市内循環バスの運行は現状では難しい。今後、現状の交通体系を前提とした課題の抽出や内容を見直し協議を順次行っていく。

国から特別交付税80%の措置がある、認識は

問 地域公共交通会議の委員は認識しているか。

答 公共交通会議への報告は行っていない。同会議の各委員は特別交付税に係る共通認識はない。

問 平成29年度公共交通で9,100万円かかった費用が、市の持ち出しは約1,800万円で済んでいる。知らせるべきで要請します。知らせていただけますか。

答 特別交付税に係わる質問内容を報告する。

公共交通運行経費に係わる 特別交付税措置一覧(単位千円)

年度	循環バス デマンド交通		
	歳出額	国の交付額	市負担額
H28年度	89,776	71,821	17,955
H29年度	91,146	72,916	18,230

渡辺まさよ

久喜市所久喜

705-3



巨大な物流センターとの協定について

問 東京理科大跡地の物流センターが営業開始となる予定だが、営業時間・苦情対応・災害時・撤退時等の協定書の取り交わしはできたのか。

答 災害時の協定締結に向けた協議を進めている。新たな事案が出たときには対策を講じていく。

問 物流センターのすぐ横にある偕楽荘と久喜特別支援学校の避難訓練の在り方、計画は改善すべき

答 万一に備えた避難訓練の在り方、見直しを今後検討させていただく。

障がい者(児)支援の改善要望にしっかりと応えるべき

問 要望の強い、生活介護を行う障がい福祉サービス事業所の増設、民間施設の誘致をすすめるべき

答 今年1施設増設されたが利用需要に追いつかない現状である。事業者への情報提供、補助制度の活用促進を薦め、取り組んでいきたい。

問 訪問入浴サービスの負担軽減をさいたま市・春日部市のように進めてほしい。

答 一定の負担軽減は行っている。今後は、利用者家族の意見や他市の事例を参考にして、調査研究をさせていただく。

問 自動車燃料利用券も福祉タクシー利用券並に拡大すべきではないか。

答 一枚で3割程度の給油ができ、外出の一助となっていることから、見直しはしない。